

日本鐵鋼協會記事

昭和 29 年度第 7 回理事會 日時：29—9—10（金）17・00—20・10 会場：協会々議室 出席者：蜂谷副会長入、河上、俵、三井(代木下)各理事、石原監事、俵、山岡、田中各前会長、伊木、岡本、佐藤、西村、橋口、毛利、横山各常務委員、橋本事務局長。

報告事項 I. 第 6 回編集委員会の件（別掲）II. 鋼の熱処理と作業標準改変委員会の件、（委員長）石原善雄君（委員、主査）佐藤忠雄君、（委員）芥川 武君、内山道良君、河上益夫君、俵 信次君、俵 隆治君、三橋鉄太郎君、安田洋一君 III. 40周年記念事業準備委員会の件 IV. 秋季大会に関する件 (1) 通俗講演会講師—斎藤彌平君 谷村 熙君に決定。(2) 大会出席申込者（9・8 現在）—34名。(3) 本部役員出席者。(4) 臨時大会出席者。V. 研究部会報告書の件 (1) 鑄物部会—鋼塊用鑄型に関する研究（7 月）、鋼材圧延用鑄型ロールに関する研究（8 月）(2) 鋼材部会—鋼材圧延の研究 3 巻（9 月以降毎月 1 巻）(3) 熱管理部会—熱経済技術要覧、加熱炉、熱精算篇(近刊) VI. 品質管理大会に関する件、期日：11、24~27。会場：東京大学。講演：本会経由 16 VII. 塑性加工に関する専門講演会に関する件、期日：10、28~29。会場：日本交通協会。講演：本会経由 4、総数 26 VIII 腐蝕、防蝕討論会に関する件、期日：11、19~20。会場：京都大学楽友会。講演：37。特別講演 1

協議事項 I. 鉄鋼技術共同研究会の件要綱案承認、日本鉄鋼協会研究部会内規に付則追加に決定。II. 石原資金（仮称）による研究事項に関する件—芥川理事、毛利常務委員に審議方委嘱のこと。III. 熔接研究連絡委員会委員（2 名）推薦の件—蜂谷茂雄君、橋口隆吉君に決定。IV. 8 月中収支決算の件—承認。V. 8 月中入退会者及び会員異動の件—承認。

	名	誉	維	持	賛	助	正	学	計
昭和 29 年 7 月末総数	9	132	707(口)	41	4,693	213	5,088		
入会者					+ 14		+ 14		
退会者		-1	-1		- 13	-1	- 15		
死亡者					- 1		- 1		
転入者					+ 2	-2			
会費滞納者					- 91		- 91		
29 年 8 月末総数	9	131	706	41	4,604	210	4,995		

第 6 回編集委員會 日時：昭和 29 年 8 月 24 日（火）。16・30—20・30。会場：協会々議室。出席者：芥川、河上各理事、西村常務委員、内山、沢、長谷川、松下(代、新実)、辻畑(代、深川)、森永、山木、吉田各編集委員、高見沢囑託。(事務局)橋本、三宅、田鍋。

(報告事項) 1. 昭和 29 年 7 月号は 7 月 29 日完成発送済み。2. 8 月号は 8 月 30 日完成の予定。3. 昭和 29 年 9 月号は 9 月 30 日完成の予定。4. Tetsu-to-Hagane Abstracts No. 2 完成。5. アンケートの結果。

(協議事項) 1. 鉄鋼手帖編集発行の件—見送りのこと。2. 会誌改善案の検討。3. 11 月号論文選定の件—選定済

第 48 回講演大会 本年度秋季講演大会は 10 月 15 日より富山県高岡市において次の通り開催された。

I. 通俗講演会：10 月 15 日高岡商工会議所において開かれ、鑄物に関する次の講演が行われた。土地柄として熱心なる鑄物関係の聴講者多く盛会であつた。

1. 高力機械鑄物の製造法：工学博士 斎藤彌平君
2. 鑄物砂並びに鑄造法案について：工学博士 谷村 熙君

II. 學術技術講演会：10 月 16、17 の 2 日間に亘り、富山大学工学部（高岡市）において行われた。初に石原実行委員長の挨拶並びに蜂谷副会長（会長代理）の開会の辞があり、次いで 3 会場に分れて夫々講演があつた。

第 1 日 講演数 38 聴講者 328, 第 2 日 同 40 同 235

III. 懇親会：16 日午後 5 時より高岡ホテルの大広間において開催、参加者 85 名、実行委員長、副会長、県市の方々より夫々挨拶があつて後懇談に移つたが、席上余興として、小原節、表屋節等地方色豊かな舞踊、民謡等も紹介され、非常な盛況裡に午後 8 時過散会した。

IV. 見学会：第1日(18日)は次の5班に分れて高岡、富山両市内外の諸工場を見学した。

第1班：日本プリント、高岡銅器、中越可鍛、呉羽紡績庄川工場、喜多喜铸造所。第2班：帝国可鍛、日本製鋼北陸軽金属、鐘淵紡績高岡工場、老子製作所。第3班：北陸研砥、日産化学伏木工場、日本鋼管富山工場、北陸銅器。第4班：大谷製鋼所富山工場、興国人絹、日曹製鋼岩瀬工場、不二越東富山製鋼所。第5班：日産化学富山工場、広貫堂、不二越富山工場。

第2日(19日)はA、C、Dの3班(B班は都合により中止)に分れ次の見学を行った。

A班：樺平発電所、黒部峡谷。C班：小松製作所栗津工場。D班：三井金属鉱業神岡鉱業所。

會 告 (III) 第 4 回品質管理大會について

第4回品質管理大會は、前号に御知らせしましたとおり、11月23日(火)より27日(土)まで東京大学工学部において開催されますが、品質管理討論会プログラムの中、鉄鋼金属関係は次のとおりであります。

11月24日 13時~16時 (一般部会) (第1会場)				
講演番号	124 QC組織が動き出すまで	日本鋼管・鶴見製鉄所	鈴木	武
	125 わが国における品質管理発展の歴史的考察	川鉄・西宮工場	藤	董
	11月23日 9時~12時 (鉱業およびサンプリング部会) (第2会場)			
	201 合金鉄のサンプリングに関する一例について	日立・安来工場	伊藤	庸雄
	202 鉄鉱石サンプリングについて	日本鋼管・鶴見製鉄所	石	渡淳一
11月24日 9時~12時 (金属部会) (第2会場)				
	挨拶		山岡	武
	214 生型砂の性質と鋳物の欠陥について	日立・亀有工場	藤片	松繁
	215 鋳物工場における実施について	富士電機・川崎工場	中里	良光
	216 ユークス工場受入石炭の秤量試験	八幡製鉄	相浦	正元
	217 高炉用ユークスの品質管理について	富士製鉄・釜石製鉄所	宮植	村治
	218 ユークス灰分の変動について	富士製鉄・広畑製鉄所	堀英	吉澄
	219 原料炭の配合作業管理について	日本鋼管・川崎製鉄所	沼栗	山口俊三
11月24日 13時~16時 (金属部会) (第2会場)				
	220 焼結鉄の粒度試験及び落下強度試験について	日本鋼管・川崎製鉄所	栗山	俊治
	221 製鋼用銑鉄の硫黄に関する一考察	日本鋼管・川崎製鉄所	植木	久夫
	222 合金鉄製造の原料管理について	信越化学・磯部工場	伊塚	田靖
	223 鋳物鉄破面評価に関する調査	日本鋼管	青木	不男
	224 製鋼能率に及ばず鉄鉱石品位の影響について	富士製鉄・室蘭製鉄所	青門	不玄
	225 大型上注リムド鋳塊のへげ疵防止について	八幡製鉄所	熊井	本一
11月25日 9時~12時 (金属部会) (第2会場)				
	226 作業観察による電気炉鋼の疵調査	八幡製鉄所	永田	泰郎
	227 小型圧延品の寸法の周期性について	住友金属・製鋼所	堀中	村橋
	228 薄板圧延における圧下について	大同鋼板	小林	小武
	229 炭素鋼薄板の酸洗に関する工場実験	日本鋼管・鶴見製鉄所	林	藤井
	230 転炉鋼と精製鋼の電解成績比較に対する統計的方法の利用	三菱金属・大阪製煉所	森	屋
	231 超硬質合金トリディアの品質管理について	三菱金属・大井工場	森	安中